



『ものが生まれる産地 ものを輝かせるデザイン』出版記念

変わる「産地とデザイン」会議

1980年代に始まり、2010年代の今、やるべきこと

今、時代が大きく変化しています。「産地とデザイン」の関係も変わっていきます。

明治以降の西洋化と近代化。商工省産業工芸指導所に象徴される輸出振興と産業のための近代デザインの模索、柳宗悦の民藝運動による日用品の見直し。戦後からはじまる復興とデザインの役割。1970年代にはじまる産地へのデザイナーの派遣を経て、80年代には、産地でのデザインの取り組みが盛んになります。

この会議では、80年の「産地とデザイン」の試みを出発点として、90年代の動きをふまえ、00年代にどんなことがおこなわれ、そして、2010年代となった今、「産地とデザイン」をこれからどうしたらいいのか。メーカー、デザイナー、プロデューサーをはじめ、公設試験場、デザインセンター、組合、商工会などの支援機関、そして、問屋やバイヤー、ショップオーナー、編集者など産地とデザインに関わる当事者約100人が集まり、それぞれの立場から前向きな意見交換をする場です。

テキストは、「ものが生まれる産地 ものを輝かせるデザイン」(2012年9月ラトルズ発行)、埼玉県公設試験場の指導員の影山和則が80年代、90年代に実践した産地のメーカーと東京のデザイナーによるものづくりと発表の様子が臨場感あふれる様子で書かれ、当時のデザインの状況、それに続く2000年代、2010年代の国の施策や産地での取り組みなど、過去から未来につながる情報満載の貴重な本です。

会議は、約100人の参加者の中から10人ほどのパネラーを中心に会議をすすめる予定です。一方的に話を聞くだけでなく、参加者全員が意見交換できるような進行を予定しています。影山和則の話をきっかけに、「継続性」と「関係性」というふたつの軸から、どんな会議が展開されるのか。変わる産地と変わるデザイン。過去から未来につながり、理想的で現実的で具体的な意見がかわされる有意義な場になることを期待しています。

日時 2012年9月15日(土) 13:00→20:00

会場 AXISギャラリー 東京都港区六本木 5-17-1 AXISビル4階
Tel.03-5575-8655 (当日のみ)

主催 変わる「産地とデザイン」会議実行委員会

協力 春日部桐箱協同組合ほか

定員 100名(申込先着順)

参加費 5,000円(税込)

「ものが生まれる産地 ものを輝かせるデザイン」本代2310円(税込)含む

パネラー

外山雅暁 経済産業省 商務情報政策局

クリエイティブ産業課 デザイン政策室

芳賀修一 にいがた産業創造機構経営支援グループ市場開拓チーム

宮島慎吾 武蔵野美術大学 基礎デザイン学科 教授

佐藤 明 東北工業大学 新技術創造研究センター

小林知行 諏訪田製作所 代表取締役

辻 晃一 丸重製紙企業組合 専務理事

日野明子 クラフトバイヤー スタジオ木瓜

磯野梨影 プロダクトデザイナー Pear Design Studio

古庄良匡 デザイナー 古庄デザイン事務所代表

杉原広宣 monova プロデューサー ほか

司会進行

萩原 修 デザインディレクター

当日のスケジュール

13:00 受付開始

13:30~14:00 はじめに

「ものが生まれる産地 ものを輝かせるデザイン」影山和則

14:00~15:30 第1部「継続すること」

15:30~16:00 休憩

16:00~17:30 第2部「関係をつくる」

18:00~20:00 交流会

お申し込み方法

以下の内容を明記の上、メールまたはFaxにてお申し込みください。

中野照子宛 tomato@mercury.plala.or.jp Fax.03-3469-0853

1. 氏名(ふりがな) / 2. 肩書き、所属など / 3. 郵便番号、住所

4. 携帯電話番号 / 5. メールアドレス / 6. コメント

◎電話でのお問い合わせは、下記までお願いします。

Tel.03-3469-0845 中野照子/アトリエ若人